

# 中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2020年4～6月期実績、2020年7月～9月期見通し）

## 1 県内商工会地区における産業全体景況

### 産業全体のすべて指標が5期連続で低下
















今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△77.6、採算D Iが△65.6、資金繰りD Iが△50.9となり、対前期比でそれぞれ、39.4ポイント、29.1ポイント、23.2ポイント減少し、すべての指標で5期連続低下した。産業別では、製造業の採算D Iの低下、サービス業の売上額D Iの低下が目立つ結果となった。

次期は、採算D Iが好転、売上額D I、資金繰りD Iの指標が低下する見通しである。

### 産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △77.6（対前期比 △39.4低下） 次期予想 △79.7（対前期比 △2.1低下）
- ・採算D I △65.6（対前期比 △29.1低下） 次期予想 △64.4（対前期比 1.2好転）
- ・資金繰りD I △50.9（対前期比 △23.2低下） 次期予想 △56.5（対前期比 △5.6低下）

### 産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年7月～9月		△20.9 ↓		△25.3 ↓		△17.0 ↓
2019年10月～12月		△27.3 ↓		△29.4 ↓		△18.7 ↓
2020年1月～3月		△38.2 ↓		△36.5 ↓		△27.7 ↓
2020年4月～6月		△77.6 ↓		△65.6 ↓		△50.9 ↓
2020年7月～9月 （見通し）		△79.7 ↓		△64.4 ↗		△56.5 ↓

## 2 業種別景況

### (1) 製造業

#### 製造業は売上額D I、資金繰りD Iが悪化、採算D Iが低下































製造業では、売上額D Iが△82.9ポイントで対前期比21.1ポイント悪化した。採算D Iは△82.4ポイントで対前期比41.2ポイント低下し、5期連続してマイナス幅が拡大、資金繰りD Iは△61.8ポイントで対前期比35.3ポイント悪化した。

次期は、売上D Iは低下、採算D I、資金繰りD Iは好転の見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △82.9 (対前期比 △21.1 悪化) 次期予想 △85.7 (対前期比 △2.8 低下)
- ・採算D I △82.4 (対前期比 △41.2 低下) 次期予想 △76.5 (対前期比 5.9 好転)
- ・資金繰りD I △61.8 (対前期比 △35.3 悪化) 次期予想 △56.0 (対前期比 5.8 好転)

#### 製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年7月～9月		△28.6 		△32.4 		△15.2 
2019年10月～12月		△28.6 		△35.3 		△26.5 
2020年1月～3月		△61.8 		△41.2 		△26.5 
2020年4月～6月		△82.9 		△82.4 		△61.8 
2020年7月～9月 (見通し)		△85.7 		△76.5 		△56.0 

## (2) 建設業

### 建設業は売上額D Iが低下、採算D Iが悪化、資金繰りD Iが好転































建設業では、売上額D Iは△42.3ポイントで対前期比15.4ポイント低下し、4期連続してマイナス幅が拡大、採算D Iは△44.0ポイントで対前期比32.0ポイント悪化したが、資金繰りD Iは△19.3ポイントで対前期比11.5ポイント好転した。

次期は、売上額D Iは大幅に低下し、採算D Iは悪化、資金繰りD Iは大幅に悪化する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △42.3 (対前期比 △15.4 低下) 次期予想 △68.0 (対前期比 △25.7 低下)
- ・採算D I △44.0 (対前期比 △32.0 悪化) 次期予想 △45.8 (対前期比 △1.8 悪化)
- ・資金繰りD I △19.3 (対前期比 11.5 好転) 次期予想 △46.2 (対前期比 △26.9 悪化)

#### 建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年7月～9月		0.0 		△20.0 		△20.0 
2019年10月～12月		△7.7 		△12.0 		△11.5 
2020年1月～3月		△26.9 		△12.0 		△30.8 
2020年4月～6月		△42.3 		△44.0 		△19.3 
2020年7月～9月 (見通し)		△68.0 		△45.8 		△46.2 

### (3) 小売業

#### 小売業では売上額D I 低下、採算D I、資金繰りD I とも悪化
















小売業では、売上額D Iが△80.8ポイントで対前期比36.0ポイント低下し、採算D Iが△57.5ポイントで対前期比20.0ポイント悪化し、資金繰りD Iは、△47.8ポイントで対前期比22.2ポイント悪化した。

次期は、売上額D Iが好転するが、採算D Iが悪化、資金繰りD Iが低下する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △80.8 (対前期比 △36.0 低下) 次期予想 △76.6 (対前期比 4.2 好転)
- ・採算D I △57.5 (対前期比 △20.0 悪化) 次期予想 △58.4 (対前期比 △0.9 悪化)
- ・資金繰りD I △47.8 (対前期比 △22.2 悪化) 次期予想 △54.1 (対前期比 △6.3 低下)

#### 小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年7月～9月		△27.0 ↗		△29.2 →		△18.7 →
2019年10月～12月		△32.6 ↓		△39.6 ↓		△16.7 ↗
2020年1月～3月		△44.8 ↓		△37.5 ↗		△25.6 ↓
2020年4月～6月		△80.8 ↓		△57.5 ↓		△47.8 ↓
2020年7月～9月 (見通し)		△76.6 ↗		△58.4 ↓		△54.1 ↓

## (4) サービス業

### サービス業は売上額D Iが悪化、採算D Iと資金繰りD Iが低下































サービス業では、売上額D Iが△85.9ポイントで対前期比59.1ポイント悪化した。採算D Iは△70.4ポイントで対前期比28.1ポイント低下し、8期連続してマイナス幅が拡大、資金繰りD Iは△59.2ポイントで対前期比30.6ポイント低下し、6期連続してマイナス幅が拡大した。

次期は、売上額D I、採算D Iとも好転する見通しである。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △85.9 (対前期比 △59.1 悪化) 次期予想 △83.1 (対前期比 2.8 好転)
- ・採算D I △70.4 (対前期比 △28.1 低下) 次期予想 △69.0 (対前期比 1.4 好転)
- ・資金繰りD I △59.2 (対前期比 △30.6 低下) 次期予想 △62.0 (対前期比 △2.8 低下)

### サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2019年7月～9月		△20.6 		△21.1 		△15.8 
2019年10月～12月		△30.4 		△25.7 		△18.8 
2020年1月～3月		△26.8 		△42.3 		△28.6 
2020年4月～6月		△85.9 		△70.4 		△59.2 
2020年7月～9月 (見通し)		△83.1 		△69.0 		△62.0 

### 3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	14.3%	工場建物、生産設備 付帯施設、OA機器	8.6%	生産設備、車両運搬具 付帯施設
建設業	7.7%	車両運搬具、福利厚生 施設、その他	7.7%	建設機械、車両運搬具
小売業	4.2%	販売設備、車両運搬具	2.1%	販売設備
サービス業	7.1%	建物、サービス 付帯設備、その他	10.0%	土地、建物、サービス OA機器、その他

### 4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	53.1%
	2位	製品（加工）単価の低下、上昇難	9.4%
		その他	9.4%
建設業	1位	民間需要の停滞	38.1%
	2位	請負単価の低下・上昇難	14.3%
		その他	14.3%
小売業	1位	需要の停滞	45.2%
	2位	その他	16.7%
	3位	消費者ニーズの変化	9.5%
サービス業	1位	需要の停滞	43.5%
	2位	その他	16.1%
	3位	利用者ニーズの変化	12.9%

# 中小企業景況調査について

## 1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

## 2 調査要領

### (1) 調査対象時期

2020年4月から6月までの第1四半期を対象とし、調査時点は2020年6月1日。

### (2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業26企業、小売業48企業、サービス業71企業)。

### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和2年7月3日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041